

あいな ちいきれんけいすいしんかいぎけつ か がいう しょう しゃしえんしせつ
愛名やまゆり園地域連携推進会議結果の概要【障がい者支援施設】

- 1 日 時 令和7年12月9日（火）13時30分～15時
- 2 場 所 愛名やまゆり園 園長室
- 3 参加者 愛名やまゆり園：園長（管理者）、支援部長、生活2課長（サービス管理責任者）3名
委員：利用者、利用者家族、地域の関係者、福祉に知見がある方 4名
- 4 概 要

(1) 愛名やまゆり園の視察

【園内視察】

○管理棟2階

併設の診療所 ひだまり（生活介護通所、園入所利用者の活動場所）

○居住棟 ※利用者、職員にインフルエンザ罹患者がいるため、一部寮で実施

居室、食堂、配膳室、デイルーム、お手洗い、浴室

○厨房棟・はらぺこ亭

厨房、まんぷく亭（職員食堂）、はらぺこ亭（通所利用者の活動及び昼食場所）

○体育館

体育館フロア（入所、通所利用者の活動場所）

○地域サービス棟

（入所、通所利用者の活動場所）

【視察後の意見交換、質疑応答】

- ・利用者の定期健康診断、がん検診はしているか

⇒全利用者が定期健康診断を実施している。40才以上の希望者に腫瘍マーカー検査を実施。女性は乳がん検診を実施している。

- ・本日視察した寮のトイレは改修されていたが、他寮の改修は実施されるのか

⇒せせらぎ寮のトイレ改修の工事費用は県ではなく当法人が負担している。県による修繕は県の計画により予算化されるが、トイレや相部屋解消へ向けた個室化工事等の改修について、現時点で具体的な話はない。今後の園の再整備がどのような形で進められるかによる。

- ・職員数は足りているか

⇒男性女性ともに欠員がある状況が続いている。処遇改善や採用活動等取り組んでいるが、法人でも、業界でも採用が厳しい状況がある。

- ・自閉症支援の本日視察した活動場所での取り組みについて、寮の中、生活の場で活かす

ことができるよう進めてほしい。活動の場と寮の中での取り組みが乖離しないよう
ひろげていくことを期待する。

⇒当園の虐待事案を受け、職員の専門性が問われている中、外部の自閉症支援の
専門家に月6回来園してもらい、現場支援員と一緒に行動の評価を基にしたプログラ
ム提供する場を作っている。エビデンスを基にした支援を目指し、チームとしての
底上げを図る努力している。一方でソフトとハードが支援の両輪であるが、ハード
面の課題が山積している状況である。

- ・地域との関り、地域資源の活用が進んでいると感じたが、キッチンカーや地域資源とか
かわりを持つきっかけはどのように作ったのか。

⇒キッチンカーについては利用者自治会からの意見を聞いて、職員が探してきた。他
に、厚木市社会福祉協議会、利用者家族、ボランティア、地域の方等とのつながりの
中からの情報提供をもとに一つずつ丁寧に関係を作っている。園の生活では不足し
ている利用者の体験や経験の機会を作り、利用者職員ともにチャレンジできる体制
づくりを目指している。

- ・グループホームでの生活に向けて、体験利用をしている。これからも頑張っていきたい。

(2) その他

- ・令和8年度実施予定新規事業の説明

包括型グループホーム（仮称第5ホーム）

飯山南地区生活介護事業所

※両事業とも、園入所利用者が利用できる場として設置を進めていること、事業の
概要と準備状況について説明した。

- ・令和8年度の地域連携推進会議は、1回目に視察を実施し2回目に会議を実施予定とする。

以上